

出雲平成温泉（平成スポーツ公園）に係る サウンディング型市場調査の実施について

出雲市公共施設のあり方指針に基づき、出雲平成温泉（平成スポーツ公園保養施設）の民間譲渡に係る公募を、令和3年度と令和4年度の2回実施しましたが、いずれも民間事業者からの応募はありませんでした。

この結果を踏まえ、今回、出雲平成温泉に平成スポーツ公園内のスポーツ施設等を加えたサウンディング型市場調査を実施します。

1 調査内容

自ら事業主体となって運営を行う意欲のある民間事業者から、既存施設の活用方法や新たな事業手法について広く意見や提案を求め、直接の対話により市場性を調査します。

(1) 参加対象事業者

出雲平成温泉（平成スポーツ公園）の土地・建物の活用の実施主体となりうる法人（財団法人、特定非営利活動法人を含む。）又は法人のグループ

(2) 対話の内容

①基本コンセプト

②対象施設の利活用（別添参照）

次のア又はイのいずれかについての提案を受け付けます。

ア 出雲平成温泉の利活用

イ 出雲平成温泉と平成スポーツ公園（野球場、ゲートボール場、テニス場、交流棟）の一体的な利活用

※出雲平成温泉の提案は必須。平成スポーツ公園の活用範囲は任意。

③事業収益を生み出すスキーム

④事業実施にあたっての課題や市への要望（譲渡条件など）

⑤事業実施にあたっての地域貢献の提案（地元雇用、地域活性化等）

2 調査スケジュール

令和6年	4～7月	サウンディング型市場調査実施 ・参加事業者説明会（現地見学会）…5月 ・対話実施 …6～7月
	8月	調査結果の公表
	9月～	民間譲渡に向けた公募の検討

出雲平成温泉（平成スポーツ公園）調査範囲図

別添



次のア・イのいずれかの提案を受け付ける。
ア 出雲平成温泉の利活用
イ 出雲平成温泉と平成スポーツ公園（野球場、ゲートボール場、テニス場、交流棟）の一体的な利活用
※出雲平成温泉の提案は必須。平成スポーツ公園の活用範囲は任意。